

株式会社 ファミリーマート 御中

インドネシア共和国  
北ジャカルタの学校における防災能力向上プログラム

第 2 四半期報告書(2015 年 11 月～2016 年 1 月)



2016 年 2 月  
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

 **Save the Children**  
JAPAN

## 1. 事業概要

事業名	北ジャカルタの学校における防災能力の向上プログラム(第2期)
対象国・地域	インドネシア共和国 ジャカルタ首都特別州 北ジャカルタ
事業期間	2015年8月1日～2016年7月31日
報告期間	2015年11月1日～2016年1月31日
予算	7,500,000円
受益者	直接裨益者：対象小学校10校の生徒2,775人、教師100人 対象小学校周辺の地域住民約150名
事業目的	毎年洪水の被害を受けている北ジャカルタのチリンチン地区において、学校における活動ならびに学校周辺コミュニティとの連携を通じて、子どもたちの自然災害に対する防災適応能力の更なる向上と定着を目指す。

## 2. 活動進捗

### 活動1. コミュニティを巻き込んだ避難訓練の実施

#### 1-1. 対象校における災害対応プランの見直しと修正

2015年12月末、対象校および北ジャカルタ市教育局、宗教省支局<sup>1</sup>、防災局の関係者と共に本事業対象各校の災害対応プランの見直しと修正を行いました。この作業ではチリンチン地区の中でも特に災害リスクの高い学校を特定し、地域や関係機関による新たな合意事項やその他の更新事項を対応プランに反映させるためのものでした。この作業は、翌年1月の防災訓練にとっても意義の大きいものでした。

#### 1-2. 洪水発生時に教育機関が迅速な災害状況を把握するためのツールの完成

2016年1月前半には、対象校10校<sup>2</sup>の校長に加え、北ジャカルタ市教育局、同市宗教省支局、教育省、UNICEFや他の国際NGO、人道支援に従事する国内団体のフォーラム関係者、防災専門家を含む18人が協議を重ね、災害状況を把握するためのツールを完成させました。

#### 1-3. 避難訓練の実施

2016年1月28日にチリンチン地区内で対象校2校(AI Barkah小学校およびPantai Indah校)が位置するカリバル地域の第2町内会および第13町内会を対象に、地域コミュニティを巻き込んだ

<sup>1</sup> 対象校10校中、4校は宗教省管轄下のイスラム教系の学校であるため、同省関係者が教育行政機関と同じ位置づけで安全な学校づくりの活動にも参加しています。

<sup>2</sup> なお、当報告期間の末に本事業対象校のKasih Immanuel小学校より本事業への今後の参加を辞退する旨の連絡があったため、代わりに新規の対象校を加える可能性を含め、現地と対応を検討中です。

大規模な避難訓練を実施しました。この訓練には州・市の防災局、教育局、宗教省支局、軍、警察、地方自治体警察隊 (Satpol PP)、保健局、州・市レベルにおけるその他の現地当局関係者、カリバル地域住民、NGO 関係者を含め、947 人が参加しました。

この訓練に向けては、住民組織の代表らが 12 月中旬より協議を重ね、避難ルートの設定や役割分担など準備や調整を進めてきました。避難訓練の後にも、今後改善すべき点などについて活発な議論が行われました。この避難訓練にはファミリーマート・インドネシア事務所および店舗より 4 人のスタッフの皆様におブザーバーとしてご参加いただきました。なお、この取り組みは現地のマスメディアによって広く報道されました<sup>3</sup>。

## **活動 2. ライフスキル能力強化研修の実施**

### **2-1. 応急処置研修**

2016 年 1 月 9 日から 10 日にかけて、上記の避難訓練実施に先立ち、防災活動の一環としてカリバル地域の第 2 町内会および第 13 町内会の地域住民 57 人(子どもを含む男性 35 人、女性 32 人)に対し、応急処置訓練を実施しました。1 月 28 日に開催された避難訓練では心理的応急処置 (PFA) を行うコーナーが設置されました。また応急措置センターも設置され、運ばれたけが人等への対応優先度を視覚化して医療ケアにつなぐ作業「トリアージ法」を子どもたちが実践しました<sup>4</sup>。

### **2-2. 消防・防火活動訓練**

上記に加え、1 月 23 日には同地域の第 2 町内会および第 13 町内会の地域住民 58 人(男性 43 人、女性 15 人)に対して消防・防火活動訓練を実施しました。

## **活動 3. 啓発ツールの配布**

防災意識の向上および保健衛生関連知識の周知に向けて 2016 年版カレンダー 2,000 部を作成し、対象校 10 校と地域コミュニティに配布しました。

---

<sup>3</sup> インターネット報道メディア 2 社 (Kompasiana/Suara Pembaharuan) および民営テレビ放送局 3 社 (Berita Satu Jakarta/SCTV/Metro TV) によって報道されました。

<sup>4</sup> 本報告書表紙の写真は応急処置センターの様子です。



配布されたカレンダーのデザイン(抜粋)

### 3. 現在の課題

防災訓練は現地関連行政機関および住民の関心と協力を集めました。その成果を今後地域の防災体制の中で定着・発展させ、また他地域にも広げていくためには、北ジャカルタ市による防災活動を法令化し、防災局の行政能力を強化していくことが重要になります。そのため、セーブ・ザ・チルドレンは他のステークホルダーと連携しつつ、今後の事業活動を通じて現地当局への働きかけを継続していく予定です。

### 4. 今後の活動予定 (★はファミリーマート社員様の参加が可能な活動です。)

※ 2月に実施予定であった避難訓練は、気象予測(2015年12月時点)に基づき予定を早めて1月28日に開催

活動内容	2016年					
	2月	3月	4月	5月	6月	7月
災害対策にかかる「ライフスキル能力向上」訓練	✓		✓	✓		
地方政府や学校とのコーディネーション			✓	✓		
避難訓練の実施 (「ライフスキル能力向上」訓練の実践を含む)	※		★ ✓	✓		
広報資料等の作成		✓	✓			
成功事例の共有と文書化	✓	✓	✓	✓		
完了報告書の作成					✓	✓

## 5. 活動写真



防災対応プランの見直しと修正に取り組むワークショップの様子



消防・防火活動訓練の様子



1月28日に開催された避難訓練に参加する地域住民



応急処置研修(左)で学んだ手当てを避難訓練で実践する住民ら(右)



避難訓練中に無線機で被災状況の情報収集と整理にあたる地域住民(左)と炊き出しコーナー(右)